

## 公益信託世田谷まちづくりファンド

### 第20回助成事業 災害対策・復興まちづくり部門 審査講評

#### こちカフェ隊

見事なプレゼンテーションでした。7年の場作りの実績が被災地での柔軟で具体的な実践につながっていることが、よく理解できました。世田谷で皆様が培った人と人が共にある場所を作り維持する技が、宮城県東松山市東名地区でも必ず役立つと確信させられました。息の長い活動を志しておられるとのことですから、カフェや共生の家を通して姉妹コミュニティができることでしょう。本当に素晴らしいことだと思います。報告会、楽しみにしています。

今回の申請は「地域共生のいえ」のアイデア、カフェイベントのノウハウ、そして若者の行動力とネットワークを生かした内容となっていて、とても世田谷らしい企画と感じました。地元で住民同士の交流スペースをつくりたい、という現地のニーズにも沿った内容だと思います。ひとつ心配があるとすれば、活動メンバーが社会人中心なので、現地とのやりとりやイベントの準備、情報発信などの事務的活動について十分に動けるかどうか、といった点です。なるべく自分たちだけで抱え込まずに、協力してくれるサポートメンバーを積極的に増やしていき、単純作業などをできる限り分担していくとよいかと思います。また、連携できそうなグループに協力やお手伝いをお願いする、ということも考えられるかもしれません。一年の活動の成果と世田谷への提言を楽しみにしています。

場に生じる磁力に期待しています。私は墨田区の玉ノ井カフェの立ち上げ・運営をお手伝いしましたが、その経験から企画にある3つのフェーズはそれぞれとても大事だと思います。初めの場づくりではアートディレクションをしっかりとすると場の力が引き出せると思います。2段階目、3段階目は地元のキーパーソンを発掘や輪を広げていくかが重要でしょう。世田谷からは制約があるので、地元の中心人物にがんばってもらい側面支援体制をどうつくるか等、いろいろ興味は尽きないところですが、報告を楽しみにしています。

快進撃を続けている世田谷区地域共生のいえ、その取り組みの成果を生かし、住民が気兼ねなく集まり、集える場所の運営ノウハウを伝えられるのは本当に素晴らしいことと思います。交流のいえで交流を深め、区民も多くのことを学べるとよいと思っています。

すでに世田谷での活動を被災地において実践し、また世田谷に体験を持ち帰り活動を振り返り、さらに災害に対する意識を高めるという理想的なコミュニティー活動の取り組みです。

現地とのつながりがあり、目的がはっきりしています。

今後も内容を充実するとともに継続性も望め、活動を支援します。

すでに現地で活動を立ち上げ協働していること、被災地に集える場所（カフェ）をつくっていくという考え方に共感しました。このような活動は主催者に寄り添いながら細やかな支援が不可欠だと思います。日々、忙しい中での活動は大変だと思いますが、若い方々の熱意と工夫に期待しています。プレゼンテーションはとてもわかりやすかったです。